

## 2011 年度 国際漁業学会大会個別報告プログラム

時間	第1会場 (212 教室)		第2会場 (213 教室)	
	座長	報告課題・報告者	座長	報告課題・報告者
09:30   09:55	(近畿大学) 多田稔	1-1. 中国におけるエビ養殖業の展開構造と産地対応  東京海洋大学大学院 李博・江南 東京海洋大学 婁小波	(中央水産研究所) 宮田勉	2-1. 高齢漁業者の漁業継続動機—被災の影響を考慮して—  明海大学 山下東子
09:55   10:20		1-2. 中国昆布産業の組織的特性と課題～山東省榮成市を事例として～  東京海洋大学大学院 江南・李博 東京海洋大学 婁小波		2-2. 非対称価格伝達の変化に関する計測手法：クロマグロ・データを用いたローリング・ウィンドウ TAR 推計  東京大学大学院 中島亨 近畿大学グローバル COE 博士研究員 松井隆宏 東京大学大学院 阪井裕太郎・八木信行
10:20   10:45	(大阪いずみ市民生協) 榎彰徳	1-3. 水族館経営の安定化へ向けた考察—水産物飼料代の変化の影響を中心として—  近畿大学大学院 野澤謙太 近畿大学グローバル COE 博士研究員 原田幸子・松井隆宏 近畿大学 有路昌彦・多田稔	(東京大学) 千田良仁	2-3. グローバル水産企業の経営戦略に関するパネル分析  近畿大学 有路昌彦
10:45   10:50	休 憩			
10:50   11:15	(東京海洋大学) 婁小波	1-4. マグロ養殖用種苗の供給体制  近畿大学グローバル COE 博士研究員 原田幸子・松井隆宏	(関西学院大学) 東田啓作	2-4. 漁業における自主管理の成立条件  近畿大学グローバル COE 博士研究員 松井隆宏
11:15   11:40		1-5. マダイ養殖業の経済分析—過剰生産は今も存在するのか—  近畿大学大学院 阪口潤 近畿大学グローバル COE 博士研究員 松井隆宏・原田幸子 近畿大学 有路昌彦・多田稔		2-5. 北海道沖合底曳網漁業の効率性分析  東京大学大学院 阪井裕太郎・八木信行

※報告時間は 17 分、質疑応答は 8 分とします。